

令和7年度 学校評価（後期）						結果							R7 前期			R6 後期		
校訓	対象	番号	設 問	1	2	3	4	3+4	評価				3+4	評価		3+4	評価	
あかるく（知） 明るい笑顔と元気な あいさつができる子	保護者	①	お子さんは、学習のきまりや規則正しい生活リズムが身に付いている。	4	13	94	37	131	89%				128	84%		125	89%	
		②	学習のきまりや規則正しい生活リズム定着のために、学校と連携を図った。	5	34	85	24	109	74%				119	78%		110	78%	
		③	お子さんは、元気なあいさつの習慣が身に付いている。	6	18	82	42	124	84%				123	81%		119	84%	
		④	家庭内で、元気なあいさつの習慣定着に努めた。	0	30	75	43	118	80%				124	82%		119	84%	
		⑤	お子さんは、学習の基礎基本が身に付いている。（家庭学習の様子やテスト結果から）	2	27	82	37	119	80%				114	75%		114	81%	
		⑥	お子さんは、自分の思いや考えを表現する力が身に付いている。（家庭生活の様子から）	1	23	85	39	124	84%				123	81%		112	79%	
		⑦	お子さんは、学習したことを活用する力が身に付いている。（家庭学習や生活の様子から）	2	26	86	34	120	81%				115	76%		118	84%	
		⑧	学校は、児童一人一人に合った「分かる・できる」授業に取り組んでいる。	1	21	92	34	126	85%				122	80%		108	77%	
	教職員	①	児童は、学習のきまりや規則正しい生活習慣が身に付いている。	0	0	15	0	15	100%	A			14	100%	A	11	92%	A
		②	学習のきまりや規則正しい生活習慣定着のために、家庭と連携を図った。	0	2	10	3	13	87%		↓		14	100%	A	11	92%	A
		③	元気なあいさつの定着に向けた指導を行った。	0	0	7	8	15	100%	A			13	93%	A	12	100%	A
		④	児童は、学習の内容が理解できている。	0	2	13	0	13	87%		↓		13	93%	A	9	75%	
		⑤	自己表現や対話する力を身に付けるための指導を行った。	0	0	7	8	15	100%	A			14	100%	A	12	100%	A
		⑥	学習したことを活用する力（読解力を含む）の向上のための指導を行った。	0	0	8	7	15	100%	A	↑		13	93%	A	12	100%	A
		⑦	言語活動の充実と、体験を通した「分かる・できる」授業改善に取り組んだ。	0	0	6	9	15	100%	A			14	100%	A	12	100%	A
		⑧	I C Tの活用による授業改善に取り組んだ。	0	0	10	5	15	100%	A	↑		11	79%		12	100%	A
	児童	①	学習のきまりを守っている。	0	5	63	76	139	97%	A			141	96%	A	145	92%	A
		②	家庭での学習をきちんとしている。	3	7	52	82	134	93%	A			137	93%	A	144	92%	A
		③	規則正しいリズムで生活をしている。	2	18	53	71	124	86%				129	88%		130	83%	
		④	朝の元気なあいさつができる。	1	11	51	81	132	92%	A			135	92%	A	132	84%	
		⑤	学習したことが分かる。	0	8	61	75	136	94%	A	↑		136	87%		138	88%	
		⑥	学習したことをほかの場面で使っている。	4	17	50	73	123	85%				118	80%		127	81%	
		⑦	自分の思ったことや考えたことを進んで話している。	7	21	66	50	116	81%				117	80%		109	69%	C
		⑧	タブレットを使ってする学習が分かる。	1	5	27	111	138	96%	A			136	93%	A	139	89%	

<結果>

- ・ 学力向上に関する保護者の評価（⑤～⑧）がやや上がった。しかし、学習内容の理解について、保護者・児童の評価（⑤）は上がっているが、教職員の評価（④）は下がっている。
- ・ 学習のきまりや規則正しい生活リズムの定着に向けた学校と家庭との連携について、保護者（②）教職員（②）とも、評価が下がっている。

<考察> （学級担任・授業担当者・研修）

- ・ 学習のきまりや規則正しい生活リズムの定着について、学校と家庭の連携が課題である。
- ・ 学習内容の理解に向けて、さらに授業改善や評価の工夫が必要である。
- ・ I C Tの活用による授業改善への取組は改善された。

<振り返り> （学級担任・授業担当者・研修・学力向上）

- ・ 家学カードの結果も含め、学期に1度ではなく、定期的に保護者とともに学習の様子を振り返ることができるように学級通信をもっと有効活用していく。
- ・ 学習のめあてを授業前に提示し、課題解決型の授業の実施に努める。
- ・ 授業内容が、児童の「分かる」から「身に付いた」と実感できるような授業改善に努める。
- ・ 個々の児童の頑張りやその成長を、児童はもとより、保護者にもしっかりと伝えていく。
- ・ 規則正しい生活リズムの定着のために、引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や保護者に対する啓発を行う。
- ・ 生活習慣に関しては、基本は家庭ではあるが、学校でも補いながら子供への指導と家庭への啓発を継続していく。

令和7年度 学校評価（後期）										結果						R7 前期			R6 後期		
校訓	対象	番号	設 問	1	2	3	4	3+4	評価							3+4	評価		3+4	評価	
やさしく（徳） 本をたくさん読み、 心を豊かにする子	保護者	⑨	お子さんは、家庭での読書活動に進んで取り組んでいる。	17	49	49	33	82	55%	C	↓	91	60%	C		89	63%	C			
		⑩	お子さんは、やさしく、思いやりを持って人に接している。	0	11	82	55	137	93%	A		137	90%	A		131	93%	A			
		⑪	お子さんは、いじめ・差別を許さない強い気持ちを持っている。	1	7	85	55	140	95%	A	↑	135	89%			137	97%	A			
		⑫	学校は、いじめ・差別を許さない心を育てている。	0	21	91	36	127	86%		↑	119	78%			118	84%				
		⑬	三瓶小学校には、重大事態（いじめるしく心身を傷つける）にあたるようないじめはない。	2	30	78	38	116	78%		↑	85	56%	C		72	51%	C			
		⑭	お子さんには、規範意識が身に付いている。	1	21	86	40	126	85%			124	82%			118	84%				
		⑮	お子さんには、自他を尊重し、大切にすることが身に付いている。	0	15	94	39	133	90%	A	↑	128	84%			129	91%	A			
		⑯	学校は、子どもの悩みや困りごとにきちんと対応している。	1	23	84	40	124	84%			127	84%			115	82%				
	教職員	⑨	積極的な読書指導や選書指導に努めた。	0	1	8	6	14	93%	A	↓	14	100%	A		12	100%	A			
		⑩	道徳の時間と具体的な場面を結び付けた指導をした。	0	1	8	6	14	93%	A	↑	12	86%			12	100%	A			
		⑪	児童は、いじめ・差別を許さない強い気持ちと実践力を身に付けている。	0	3	10	2	12	80%		↓	14	100%	A		11	92%	A			
		⑫	人権感覚を磨くための研修に努めた。	0	3	9	3	12	80%		↓	14	100%	A		10	83%				
		⑬	児童は、規範意識を身に付けている。	0	2	11	2	13	87%		↓	13	93%	A		10	83%				
		⑭	児童は、自他を尊重し、大切にすることが身に付けている。	0	1	13	1	14	93%	A		13	93%	A		12	100%	A			
		⑮	教育相談（定期・随時）の充実に取り組んだ。	0	1	8	6	14	93%	A	↓	14	100%	A		12	100%	A			
		⑯	家庭と連携して、いじめの未然防止・早期発見等に努めた。	0	1	8	6	14	93%	A	↓	14	100%	A		11	92%	A			
	児童	⑨	家庭で、進んで読書をした。	10	16	60	58	118	82%			117	80%			125	80%				
		⑩	まわりの人にやさしく思いやりを持って接した。	1	10	48	85	133	92%	A		140	95%	A		144	92%	A			
		⑪	道徳の時間の学習は自分のためになっている。	2	8	36	98	134	93%	A		136	93%	A		140	89%				
		⑫	いじめやまちがったことをゆるさない行動をしている。	6	9	49	80	129	90%	A		125	85%			102	65%	C			
		⑬	三瓶小学校には長くつづくようないじめがない。	2	9	36	97	133	92%	A	↑	127	81%			105	67%	C			
		⑭	いつもきまりを守って生活している。	0	8	64	72	136	94%	A		136	93%	A		143	91%	A			
		⑮	友だちを大切にしている。	1	3	32	108	140	97%	A		142	97%	A		151	96%	A			
		⑯	先生になんでも相談できる。	19	27	50	48	98	68%	C	↓	109	74%			89	57%	C			

<結果>

- ・ 家庭での読書活動について、児童の評価（⑨）はやや上がっているものの、保護者の評価（⑨）は下がっている。また、教職員の読書指導・選書指導の評価も下がっている。
- ・ いじめの現状について、内容を明確に限定したことで、保護者の評価（⑬）・児童の評価（⑬）が上がった。
- ・ 教職員の生徒指導への意識（⑪⑫⑬）が低下している。
- ・ 児童が先生に何でも相談できる環境づくりについての評価（⑯）が下がった。

<考察> （学級担任・生徒指導）

- ・ 家庭での読書活動・選書指導をさらに意識して行う必要がある。また、児童の読書の様子を家庭に伝えることも積極的に行う必要がある。
- ・ いじめの現状についての評価は上がったが、「いじめがある」と答える保護者・児童がいるため、詳細を把握しなければならない。
- ・ 先生に何でも相談できる環境づくりにさらに努める必要がある。

<振り返り> （生徒指導・学級担任）

- ・ 本の好きな子を育てたいという気持ちを保護者にも持ってもらえるよう、学級通信等で伝える。また、保護者も時間を作り、親子読書の時間ができるように呼び掛ける。
- ・ 宿題に読書30分とか読書20ページとか宿題の項目に挙げてみる。そして、その本を紹介する時間を位置づけるなどして、読まなくてはならない状況を作る。
- ・ いじめに関しては、小さな問題を見逃さず、その場での指導を行う。また、家庭との連携を図り見守っていく。
- ・ 授業、授業外に関係なく、児童の話の聞いたり声を掛けたりして、児童との良好な関係づくりに努める。

令和7年度 学校評価（後期）							結果						R7 前期			R6 後期		
校訓	対象	番号	設 問	1	2	3	4	3+4	評価				3+4	評価		3+4	評価	
たくましく（体） 夢や希望を持ち、努力する子	保護者	⑰	お子さんは、夢や目標を持って頑張っている。	0	26	76	46	122	82%	↑			114	75%		109	77%	
		⑱	お子さんは、返事や丁寧な言葉遣いができている。	1	42	82	23	105	71%	↑			101	66%	C	101	72%	
		⑲	学校は、健康・安全教育、防災教育の充実に取り組んでいる。	0	12	85	51	136	92%				141	93%	A	129	91%	A
		㉑	お子さんは、基本的な生活習慣が身に付いている。	2	18	88	40	128	86%	↑			121	80%		119	84%	
		㉒	お子さんは、体力が身に付いている。	4	28	68	48	116	78%				120	79%		114	81%	
		㉔	学校は、積極的に体力向上に取り組んでいる。	1	16	80	51	131	89%				132	87%		124	88%	
		㉕	お子さんの学級は、お子さんが安心して全力で頑張れる場所となっている。	2	18	67	61	128	86%				139	91%	A	117	83%	
		㉖	学校は、地域と連携して体験活動などに取り組んでいる。	1	12	80	55	135	91%	A			141	93%	A	131	93%	A
	教職員	⑰	児童は、夢や目標を持って努力している。	0	1	12	2	14	93%	A	↓		14	100%	A	12	100%	A
		⑱	児童は、返事や丁寧で適切な言葉遣いができる。	0	2	11	2	13	87%		↓		13	93%	A	12	100%	A
		⑲	健康・安全教育、防災教育の充実努力した。	0	0	7	8	15	100%	A			14	100%	A	12	100%	A
		㉑	児童は、基本的な生活習慣が身に付いている。	0	2	11	2	13	87%		↓		13	93%	A	12	100%	A
		㉒	児童は体力が身に付いている。	0	2	12	1	13	87%		↓		14	100%	A	10	83%	
		㉔	児童が全力で頑張れる学級・教育環境づくりに努力した。	0	0	9	6	15	100%	A			14	100%	A	12	100%	A
		㉕	地域等との連携による体験活動に取り組んだ。	0	0	10	5	15	100%	A	↑		12	86%		11	92%	A
		㉖	学校行事、諸活動の工夫・改善に取り組んだ。	0	0	8	6	14	93%	A	↓		14	100%	A	11	92%	A
	児童	⑰	夢や目標を持ってがんばることができた。	4	4	35	101	136	94%	A			138	94%	A	141	90%	A
		⑱	返事やていねいな言葉づかいができる。	0	10	62	72	134	93%	A			135	92%	A	138	88%	
		⑲	自分の健康や安全を自分で守れる。	2	3	47	92	139	97%	A			139	95%	A	143	91%	A
		㉑	自分の身のまわりの整理整頓ができる。	3	11	50	80	130	90%	A			132	90%	A	131	83%	
		㉒	外で元氣よく遊ぶことが多い。	17	22	31	74	105	73%		↑		100	64%	C	107	68%	C
		㉔	学級で安心して勉強ができる。	2	7	42	93	135	94%	A			132	90%	A	132	84%	
		㉕	学校の行事や活動が楽しい。	2	7	24	111	135	94%	A			142	97%	A	138	88%	
		㉖	家のことや学校のことで心配なことはない。	8	23	31	82	113	78%		↓		130	88%		111	71%	

<結果>

- ・ 言葉遣いについて、保護者の評価（⑱）は上がったが、教職員の評価（⑱）は下がった。
- ・ 基本的な生活習慣の定着について、保護者の評価（㉑）は上がったが、教職員の評価（㉑）は下がった。
- ・ 外遊びをする児童は増えたが、体力の向上について、教職員の評価（㉑）が下がった。
- ・ 家や学校のことで悩みを持つ児童が増えた。

<考察> （生徒指導・体育主任・学級担任）

- ・ 校外でのあいさつや言葉遣いについて、家庭と連携しながら継続して指導する必要がある。
- ・ 基本的な生活習慣の定着について、意識した指導を継続する必要がある。
- ・ 課外体育への参加について、児童や保護者へ積極的に呼び掛ける必要がある。
- ・ 悩みやトラブルに対しての継続した指導やケアが必要である。

<振り返り> （生徒指導・体育主任・学級担任）

- ・ 気持ちのよい返事や相手を思いやる言葉遣いについては、指導を続けていく。また、教師自身も児童の手本となるような言葉で関われるよう、日々意識していく。
- ・ 体力づくり、仲間づくり面で、天気の良い日は、外遊びを励行する。さらに、学級の集団遊び（運動）に全員が参加できるようにする。
- ・ 課外練習への取組について、学級で募集をする際に、運動することのメリットや必要性をしっかりと子供や保護者に伝えておくと、もう少し積極的な参加が望めるのではないかな。

令和7年度 学校評価（後期）							結果						R7 前期			R6 後期		
校訓	対象	番号	設 問	1	2	3	4	3+4	評価				3+4	評価		3+4	評価	
その他	保護者	㉕	学校・家庭・地域が協力し合って子どもを育てている。	1	16	83	48	131	89%		↑		126	83%		122	87%	
		㉖	三瓶小学校の教職員は生き生きと働いている。	0	30	89	29	118	80%				129	85%		100	71%	
		㉗	安心して学校に子どもを通わせている。	0	11	76	61	137	93%	A			139	91%	A	122	87%	
	教職員	㉕	業務改善に取り組んでいる。	0	2	11	2	13	87%		↑		11	79%		10	83%	
		㉖	校務にやりがいを感じている。	0	0	7	8	15	100%	A			13	93%	A	11	92%	A
		㉗	自分の校務に自信を持って取り組んでいる。	0	0	9	6	15	100%	A			13	93%	A	12	100%	A
		㉘	自己目標達成に向けて努力している。	0	0	8	7	15	100%	A			14	100%	A	12	100%	A
		㉙	仕事の悩みを相談できる同僚がいる。	0	0	9	6	15	100%	A			14	100%	A	11	92%	A
		㉚	職場に安心感を感じる。	0	1	9	5	14	93%	A	↑		12	86%		12	100%	A
	児童																	

<自由記述>

- 子供の良い所を見つけて伝えてくれる担任だと思います。
- 子供が困った時には積極的に子供と向き合ってもらえるので、親子で今の学校生活に安心しています。ありがとうございます。
- 学校全体で読書活動に取り組んでいるおかげで、家でも文字の多い本を進んで読むようになりました。
- ○○先生のこういうところがすごいんですよと家でいろいろな先生の話をしています。子どもの周りに大人のよいモデル(憧れ)がいることが、とてもありがたいです。
- 精神面や友達との関わり方を気にかけてもらい安心して子供を任せてます。子供自身も先生を信頼していることが伝わります。
- 大雨や雷の時だけバスに乗せるのか。乗れるなら 毎日乗せればいい。寒い冬暑い夏かわいそう。
- 制服をなくして欲しい。負担でしかない。
- 担任の先生だけではなく、他の先生も該当しますが、感情的になった時に物に当たるのは良くないかと。教育上よくないですし、それを見た子供達は物に当たっても良いと思ってしまいすし。人間だから怒るのは当たり前ですが、感情的になった時に少し冷静に叱っていただきたい。